

2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年11月12日  
東・名

上場会社名 日本エコシステム株式会社 上場取引所  
 コード番号 9249 URL <https://www.jp-eco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 穰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 稲生篤彦 (TEL) 0586-64-9249  
 定時株主総会開催予定日 2021年12月22日 配当支払開始予定日 2021年12月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	6,985	14.1	770	87.1	801	90.9	571	152.7
2020年9月期	6,122	△0.4	411	△13.8	419	△11.6	226	△4.2

(注) 包括利益 2021年9月期 587百万円 (151.8%) 2020年9月期 233百万円 (△5.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	285.95	—	32.2	13.2	11.0
2020年9月期	113.16	—	16.4	7.1	6.7

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 ー百万円 2020年9月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	6,020	2,115	34.3	1,031.90
2020年9月期	6,081	1,529	24.5	745.04

(参考) 自己資本 2021年9月期 2,063百万円 2020年9月期 1,490百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,475	△170	△1,165	691
2020年9月期	549	△800	94	552

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00	50	8.7	2.8
2022年9月期(予想)	—	10.00	—	40.00	50.00		22.6	

(注) 2022年9月期(予想)の第2四半期末配当金は、上場記念配当であります。

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,034	0.7	810	5.1	831	3.7	588	2.9	220.99

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年11月12日現在の発行済み株式数(自己株式を除く)を使用しています。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社（社名）アイスクエア株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	2,000,000株	2020年9月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期	—株	2020年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	2,000,000株	2020年9月期	2,000,000株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,438	13.6	506	60.7	504	55.0	357	86.6
2020年9月期	3,908	△11.6	315	△29.9	325	△29.4	191	△40.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年9月期	178.74		—					
2020年9月期	95.77		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
2021年9月期	3,709	911.73	1,823	491.73	49.2	911.73	911.73	
2020年9月期	3,483	732.09	1,464	422.09	42.0	732.09	732.09	

(参考) 自己資本 2021年9月期 1,823百万円 2020年9月期 1,464百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、2021年11月26(金)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況で推移いたしました。先行きにつきましては、ワクチン接種などの感染症対策により感染拡大ペースに鈍化の兆しがみられております。また、各種政策による効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されます。

このような状況のもと、当社グループは「交通インフラ事業」にて収益基盤を構築、事業の裾野を拡大し、「公共サービス事業」で公営競技を中心とした事業規模の拡大を図り、これらの技術、収益を基盤にして「環境事業」を推進するべく取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高6,985百万円(前期比114.1%)、営業利益770百万円(前期比187.1%)、経常利益801百万円(前期比190.9%)、親会社株主に帰属する当期純利益571百万円(前期比252.7%)となりました。

セグメント別の状況は、以下の通りであります。

#### <公共サービス事業>

公共サービス事業におきましては、公営競技を中心とした施設の保守・運営に関する事業及びファシリティ改修に関する事業を行っております。前連結会計年度と同様に、当連結会計年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の防止策を講じた事業運営を進めてまいりました。当連結会計年度においては、前連結会計年度で発生した緊急事態宣言の発令に伴う休業要請はなく、営業時間の短縮などの一部制限はあったものの、売上高及び営業利益ともに前期比増となりました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は3,353百万円(前期比105.9%)、セグメント営業利益は466百万円(前期比219.5%)となりました。

#### <環境事業>

環境事業におきましては、排水浄化処理に関する事業及び再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務並びに自社設備による売電に関わる事業を展開しております。当連結会計年度では、排水浄化処理に関する事業における営業人員の増員など販売体制の拡充により、受注機会の拡大が図られております。一方で、排水浄化効率促進剤の研究及び生産を行う施設の稼働を2020年12月より開始したことで、新規設備投資に伴う減価償却費や研究開発費等の固定費が新たに発生しております。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は635百万円(前期比113.8%)、セグメント営業利益は5百万円(前期比10.5%)となりました。

#### <交通インフラ事業>

交通インフラ事業におきましては、高速道路を中心とした道路エンジニアリング・道路メンテナンスに関する事業を展開しております。当連結会計年度において当社主要顧客である中日本高速道路株式会社(NEXCO中日本)関連会社からの道路の維持補修工事や修繕工事、コンクリート構造物の劣化や損傷の点検、交通規制、高速道路ETC通信の保守等の業務が順調に推移しました。なお、当連結会計年度では、異常気象による降雪によって雪氷対策作業が大幅に増加したこと、及び高速道路集中工事等を複数エリアで受注したことにより、売上高及び営業利益ともに前期比増となりました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は2,376百万円(前期比128.7%)、セグメント営業利益は705百万円(前期比130.8%)となりました。

#### <その他事業>

その他事業におきましては、不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業及びシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業を展開しております。当連結会計年度においては販売用不動産の売却により売上高が増加いたしました。

セグメント売上高(外部売上高)は619百万円(前期比112.6%)、セグメント営業利益は131百万円(前期比163.2%)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は2,327百万円(前連結会計年度末は2,211百万円)となり、115百万円増加しております。これは、主として現金及び預金が104百万円、受取手形及び売掛金が119百万円増加した一方で、たな卸資産が166百万円減少したこと等によるものであります。

### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は3,690百万円(前連結会計年度末は3,865百万円)となり、174百万円減少しております。これは主に、機械装置及び運搬具が110百万円増加した一方で、建物及び構築物が国庫補助金等による圧縮記帳適用等により58百万円減少したことに加え、減価償却累計額が306百万円増加したこと等により有形固定資産が218百万円減少したことによるものであります。

### (繰延資産)

当連結会計年度末における繰延資産の残高は2百万円(前連結会計年度末は3百万円)となり、0百万円減少しております。これは当年度の償却処理による減少であります。

### (資産合計)

上記の結果、当連結会計年度末における資産合計は6,020百万円(前連結会計年度末は6,081百万円)となり、60百万円減少しております。

### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は2,036百万円(前連結会計年度末は2,120百万円)となり、84百万円減少しております。これは主に、短期借入金が489百万円、1年内償還予定の社債が100百万円、リース債務が11百万円減少した一方で、買掛金が127百万円、未払法人税等が178百万円、その他流動負債が213百万円増加したこと等によるものであります。

### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,868百万円(前連結会計年度末は2,430百万円)となり、561百万円減少しております。これは主に、長期借入金が453百万円、社債が57百万円、リース債務が47百万円減少したこと等によるものであります。

### (負債合計)

上記の結果、当連結会計年度末における負債合計は3,905百万円(前連結会計年度末は4,551百万円)となり、646百万円減少しております。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は2,115百万円(前連結会計年度末は1,529百万円)となり、585百万円増加しております。これは主に、利益剰余金が571百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、691百万円(前連結会計年度は552百万円)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,475百万円(前連結会計年度は549百万円の資金の獲得)となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益801百万円に減価償却費371百万円、たな卸資産の減少額167百万円、仕入債務の増加額127百万円を加算した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は170百万円(前連結会計年度は800百万円の支出)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出196百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,165百万円(前連結会計年度は94百万円の資金の獲得)となりました。

これは、主に短期借入金による純減少額489百万円、長期借入金の返済による支出456百万円、社債の償還による支出157百万円、リース債務の返済による支出60百万円によりそれぞれ減少したことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

(業績予想)

新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、景気動向や雇用、所得環境の急激な変化を受け、新しい生活様式を取り入れた生活への順応、並びにこれに適応した企業活動が求められております。

当社グループは、社是・経営理念に沿った事業領域の拡大、多角化を推進し、地球環境維持に貢献する「未見道」を追求しております。

環境事業において、2020年12月、研究及び生産を行う施設を稼働開始いたしました。これを契機とし、「環境社会をリードする」事業を今まで以上に、かつ積極的に展開することで、社会に必要とされ続ける永続企業を目指してまいります。

翌連結会計年度(2022年9月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高7,034百万円、営業利益810百万円、経常利益831百万円、親会社株主に帰属する当期純利益588百万円を予想しております。

今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況如何によっては、業績が変動する可能性があります。連結業績予想を修正する必要がある場合には速やかに開示致します。

(利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当)

当社では、中長期的に企業価値を高めるとともに、株主の皆様へ利益を還元していくことを重要な経営課題の一つとして位置付けております。配当については、安定性・継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況及び配当性向等を総合的に勘案し、配当性向25%を目指してまいります。

内部留保資金については、今後の企業としての成長と、財務基盤の安定のバランスに鑑みながら、設備投資、M&A等の投資、有利子負債の返済等に充当してまいります。

当期の期末配当金につきましては1株につき25円の普通配当を実施させていただく予定です。この結果、当期の年間配当金は1株につき25円となる予定です。

次期の配当につきましては、2022年9月期第2四半期において、株主の皆様へ感謝の意を表するため1株につき10円の株式上場記念配当を実施させていただく予定です。期末配当金につきましては、配当性向等を勘案し、1株につき40円を予定しております。この結果、次期の年間配当金は1株につき50円を予定しております。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	700,022	804,895
受取手形及び売掛金(純額)	867,020	986,040
たな卸資産	505,346	338,876
その他	139,584	197,447
流動資産合計	2,211,974	2,327,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,603,529	1,545,145
機械装置及び運搬具	1,344,355	1,455,321
工具、器具及び備品	855,065	800,687
土地	997,530	1,028,945
リース資産	368,054	368,372
建設仮勘定	68,454	127,362
減価償却累計額	△1,701,417	△2,008,325
有形固定資産合計	3,535,571	3,317,510
無形固定資産		
ソフトウェア	115,767	84,548
その他	13,475	11,782
無形固定資産合計	129,243	96,330
投資その他の資産		
投資有価証券	34,421	74,080
繰延税金資産	57,604	86,574
その他	108,451	116,377
投資その他の資産合計	200,478	277,031
固定資産合計	3,865,293	3,690,873
繰延資産	3,798	2,821
資産合計	6,081,066	6,020,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	173,795	301,457
短期借入金	839,779	350,000
1年内償還予定の社債	157,000	57,000
1年内返済予定の長期借入金	416,438	413,880
リース債務	59,781	48,078
未払法人税等	20,971	199,706
その他	453,041	666,456
流動負債合計	2,120,808	2,036,578
固定負債		
社債	286,000	229,000
長期借入金	1,912,830	1,459,365
リース債務	61,071	13,206
繰延税金負債	23,151	19,123
資産除去債務	96,748	97,213
その他	50,938	50,973
固定負債合計	2,430,740	1,868,881
負債合計	4,551,548	3,905,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,888	88,888
利益剰余金	1,399,467	1,971,375
株主資本合計	1,488,355	2,060,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,727	3,535
その他の包括利益累計額合計	1,727	3,535
非支配株主持分	39,434	51,694
純資産合計	1,529,517	2,115,494
負債純資産合計	6,081,066	6,020,954



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	6,122,590	6,985,957
売上原価	4,596,193	5,060,545
売上総利益	1,526,397	1,925,412
販売費及び一般管理費	1,114,476	1,154,741
営業利益	411,921	770,670
営業外収益		
受取利息	19	22
受取配当金	556	475
受取保険金	6,275	395
補助金収入	10,922	43,143
保険解約返戻金	4,711	—
その他	9,065	11,875
営業外収益合計	31,550	55,912
営業外費用		
支払利息	20,061	14,813
上場関連費用	—	5,423
その他	3,621	4,931
営業外費用合計	23,682	25,167
経常利益	419,788	801,416
特別利益		
補助金収入	48,869	—
投資有価証券売却益	8,773	—
特別利益合計	57,643	—
特別損失		
固定資産撤去費用	61,900	—
減損損失	1,588	—
新型コロナウイルス関連損失	87,827	—
特別損失合計	151,316	—
税金等調整前当期純利益	326,116	801,416
法人税、住民税及び事業税	87,645	251,027
法人税等調整額	1,471	△35,780
法人税等合計	89,117	215,246
当期純利益	236,998	586,169
非支配株主に帰属する当期純利益	10,685	14,260
親会社株主に帰属する当期純利益	226,313	571,908

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	236,998	586,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,467	1,807
その他の包括利益合計	△3,467	1,807
包括利益	233,531	587,976
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	222,846	573,716
非支配株主に係る包括利益	10,685	14,260

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	88,888	1,173,153	1,262,042	5,194	5,194	32,748	1,299,986
当期変動額							
剰余金の配当						△4,000	△4,000
親会社株主に帰属 する当期純利益		226,313	226,313				226,313
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)				△3,467	△3,467	10,685	7,218
当期変動額合計	—	226,313	226,313	△3,467	△3,467	6,685	229,531
当期末残高	88,888	1,399,467	1,488,355	1,727	1,727	39,434	1,529,517

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	88,888	1,399,467	1,488,355	1,727	1,727	39,434	1,529,517
当期変動額							
剰余金の配当						△2,000	△2,000
親会社株主に帰属す る当期純利益		571,908	571,908				571,908
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)				1,807	1,807	14,260	16,068
当期変動額合計	—	571,908	571,908	1,807	1,807	12,260	585,976
当期末残高	88,888	1,971,375	2,060,264	3,535	3,535	51,694	2,115,494

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	326,116	801,416
減価償却費	378,566	371,238
減損損失	1,588	—
受取利息及び受取配当金	△575	△497
支払利息	20,061	14,813
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,773	—
保険解約返戻金	△4,711	—
売上債権の増減額(△は増加)	△160,029	△118,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	70,150	167,608
リース投資資産の増減額(△は増加)	12,862	14,808
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,555	127,082
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△8,610	96,447
未払金の増減額(△は減少)	46,915	34,190
未払消費税等の増減額(△は減少)	142,271	97,873
その他	575	△37,628
小計	768,851	1,569,342
利息及び配当金の受取額	574	497
利息の支払額	△19,869	△14,783
法人税等の支払額	△199,813	△79,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	549,742	1,475,148
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△63,613	△64,934
定期預金の払戻による収入	62,409	98,626
有形固定資産の取得による支出	△685,274	△196,842
無形固定資産の取得による支出	△47,181	△1,730
保険積立金の積立による支出	△246	—
保険積立金の解約による収入	26,738	32,619
投資有価証券の取得による支出	△17,515	△37,220
投資有価証券の売却による収入	21,398	—
事業譲受による支出	△30,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△54,291	△2,361
その他	△12,967	1,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△800,544	△170,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	140,572	△489,779
長期借入れによる収入	650,000	—
長期借入金の返済による支出	△439,351	△456,889
社債の償還による支出	△167,000	△157,000
非支配株主への配当金の支払額	△4,000	△2,000
リース債務の返済による支出	△85,965	△60,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,255	△1,165,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△156,545	138,543
現金及び現金同等物の期首残高	709,541	552,995
現金及び現金同等物の期末残高	552,995	691,539

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業拠点(事業所、営業所、出張所)を置き、各事業拠点は取り扱う製品・サービスについて横断的に相互連携的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業拠点を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「公共サービス事業」「環境事業」「交通インフラ事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「公共サービス事業」は、公営競技場における、トータリゼータシステム(注)の設計・製造・販売・機器設置や一般事業者も含めた空調衛生設備等のファシリティに関わる事業、並びにトータリゼータシステムのメンテナンスに関わる事業やAIによる競輪予想サービス・警備・清掃等の運営業務に関わる事業を通じて安心・安全・快適な環境社会を実現する事業を展開しております。

「環境事業」は、排水浄化効率を促進させる製剤の研究開発、製造及び販売業務並びに産業用太陽光の再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務並びに自社設備による売電に関わる事業を通じて環境社会に貢献する事業を展開しております。

「交通インフラ事業」は、高速道路を中心とした構造物点検、電気通信設備・ETC保守、交通管制業務、道路照明灯保守等の道路エンジニアリングに関わる事業及び維持修繕工事、事故・災害復旧工事、雪氷対策作業、土木工事、交通規制等の道路メンテナンスに関わる事業にて安心・安全・快適な環境社会を実現する事業を展開しております。

(注) トータリゼータシステムとは公営競技における、オッズ(購入した馬券等が的中した際の戻り倍率)の表示、集計、投票券の発券、配当金の計算、払い戻しまでの一連の業務をコンピューターで一括処理するシステムのことを指します。発券や払い戻しを行う機器を含め、業務に関わるコンピューターネットワークの総称です。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額
	公共サービ ス事業	環境事業	交通インフ ラ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,167,505	559,079	1,846,099	5,572,683	549,907	—	6,122,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	369	1,795	2,464	18,732	△21,197	—
計	3,167,805	559,448	1,847,894	5,575,148	568,639	△21,197	6,122,590
セグメント利益	212,508	49,540	539,165	801,214	80,524	△469,817	411,921
セグメント資産	2,423,970	1,613,647	601,006	4,638,625	710,767	731,673	6,081,066
その他の項目							
減価償却費	200,383	93,875	38,668	332,928	26,830	18,808	378,566
のれんの償却額	—	18,433	—	18,433	1,681	1,242	21,356
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	98,790	580,228	40,692	719,711	4,104	29,448	753,265

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△469,817千円にはセグメント間取引消去等1,548千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,366千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額731,673千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産で、主なものは管理運用資金(現金及び預金)及び管理(本社)部門に係る資産等であります。

(3) その他項目の調整額は主に本社固定資産の償却額並びに増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額
	公共サービ ス事業	環境事業	交通インフ ラ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,353,676	635,962	2,376,849	6,366,487	619,469	—	6,985,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,721	—	4,432	9,153	25,072	△34,226	—
計	3,358,398	635,962	2,381,281	6,375,641	644,542	△34,226	6,985,957
セグメント利益	466,376	5,222	705,225	1,176,824	131,429	△537,583	770,670
セグメント資産	2,423,833	1,511,666	708,793	4,644,293	534,817	841,843	6,020,954
その他の項目							
減価償却費	177,560	114,526	38,863	330,950	26,051	14,237	371,238
のれんの償却額	—	—	3,255	3,255	1,681	—	4,936
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	75,567	41,754	67,864	185,186	139	△5,710	179,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△537,583千円にはセグメント間取引消去等△1,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△536,357千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額841,843千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産で、管理運用資金(現金及び預金)及び管理(本社)部門に係る資産等であります。

(3) その他項目の調整額は主に本社固定資産の償却額並びに増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	745円04銭	1,031円90銭
1株当たり当期純利益金額	113円16銭	285円95銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	226,313	571,908
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	226,313	571,908
普通株式の期中平均株式数(株)	2,000,000	2,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回新株予約権 新株予約権の数 120,000個 普通株式 120,000株	第1回新株予約権 新株予約権の数 120,000個 普通株式 120,000株

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2021年10月8日に東京証券取引所市場第二部及び名古屋証券取引所市場第二部に上場いたしました。

この上場にあたり、2021年9月8日及び2021年9月17日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2021年10月7日に払込が完了いたしました。

(1) 募集方法 一般募集（ブックビルディング方式による募集）

(2) 発行する株式の種類及び数 普通株式 670,000株

(3) 発行価格 1株につき2,120円

(4) 発行価格の総額 1,420,400,000円

(5) 増加した資本金及び資本準備金に関する事項 増加した資本金の額 656,935,000円

増加した資本準備金の額 656,935,000円

(6) 引受価額 1株につき1,961円

(7) 払込期日 2021年10月7日

(8) 資金の使途 設備資金、投融資資金、研究開発資金、人材採用及び育成資金並びにその他費用等に充当する予定です。

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2021年10月8日に東京証券取引所市場第二部及び名古屋証券取引所市場第二部に上場いたしました。

この上場にあたり、2021年9月8日及び2021年9月17日開催の取締役会において、みずほ証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2021年11月10日に払込が完了いたしました。

(1) 募集方法 第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）

(2) 発行する株式の種類及び数 普通株式 5,500株

(3) 増加した資本金及び資本準備金に関する事項 増加した資本金の額 5,392,750円

増加した資本準備金の額 5,392,750円

(4) 割当価格 1株につき1,961円

(5) 割当価格の総額 10,785,500円

(6) 割当先 みずほ証券株式会社

(7) 払込期日 2021年11月10日

(8) 資金の使途 (公募による新株式の発行) (8) 資金の使途 と同一であります。